astraJLPT Editorial

問題用紙

(1 9 9 7)

1 級

文字・語彙

(100点　45分)

注　　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で10ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

問題 Ⅰ　次の文の下線をつけたことばは、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　地震の被害者(1)に対する、彼らの速やかな救援(2)(3)活動は、賞賛に値する(4)。

(1) 被害者	1	かがいしゃ	2	きがいしゃ	3	はがいしゃ	4	ひがいしゃ
(2) 速やかな	1	なごやかな	2	すみやかな	3	ゆるやかな	4	はなやかな
(3) 救援	1	きゅうえん	2	きゅうかん	3	きゅうだん	4	きゅうめん
(4) 値する	1	ねする	2	ちする	3	あたいする	4	くらいする

問 2　夫婦は互いに(1)束縛(2)したり干渉(3)したりしない方がいいという考え方に共鳴(4)する人が多くなった。

(1) 互いに	1	たがいに	2	ただいに	3	ちがいに	4	ちだいに
(2) 束縛	1	そくせん	2	そくてん	3	そくばく	4	そくぼく
(3) 干渉	1	かんしょう	2	かんほ	3	せんしょう	4	せんほ
(4) 共鳴	1	こうちょう	2	こうめい	3	きょうちょう	4	きょうめい

問 3　彼は前途有望(1)(2)な青年で、視野(3)を広げるために外国に留学し、現地で充実(4)した毎日を送っている。

(1) 前途	1	せんと	2	せんど	3	ぜんと	4	ぜんど
(2) 有望な	1	ゆうぼうな	2	ようぼうな	3	ゆうもうな	4	ようもうな
(3) 視野	1	きや	2	しや	3	けんや	4	こうや
(4) 充実	1	せいじつ	2	じゅうじつ	3	ちゃくじつ	4	ちゅうじつ

問 4　福祉予算の規模が縮小(1)されたため、老人の介護(2)をする人の負担(3)が増えてしまった。

(1) 縮小	1	しゅしょう	2	しゅうしょう	3	しゅっしょう	4	しゅくしょう
(2) 介護	1	かいかく	2	かんかく	3	かいご	4	かんご
(3) 負担	1	ふたん	2	ふだん	3	ふうたん	4	ふうだん

問題 Ⅱ　次の文の下線をつけたことばは、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書くことばを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（例）　この仕事について一切の責任を持つ。

1　一斉　　2　一層　　3　一節　　4　一歳

例の文の下線のことばは、ひらがなで「いっさい」と書きます。1～4のことばはそれぞれ、1は「いっせい」、2は「いっそう」、3は「いっせつ」、4は「いっさい」と書きます。例の文の「いっさい（一切）」と4の「いっさい（一歳）」はひらがなで同じ書き方ですから、正解は4です。

（解答用紙）

（例）	① ② ③ ●

(1)　留学生の受け入れ態勢を整える。

1　大衆　　2　体制　　3　滞在　　4　対戦

(2)　会議が長引いて、思考力が低下した。

1　脂肪　　2　自己　　3　事項　　4　志向

(3)　税務署に所得を申告する。

1　神経　　2　真空　　3　深刻　　4　新興

(4)　官僚の任命権は大臣にある。

1　元来　　2　完了　　3　慣例　　4　勧誘

(5)　聴講するためには正規の手続きが必要です。

1　世紀　　2　将棋　　3　証拠　　4　整理

問題 Ⅲ　次の文の下線をつけたことばは、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　(1)かいしゅうしたアンケートの(2)ぶんせきには、コンピューターが(3)いりょくを(4)はっきする。

(1) かいしゅう	1	回周	2	回集	3	回拾	4	回収
(2) ぶんせき	1	分折	2	分析	3	分析	4	分訴
(3) いりょく	1	依力	2	偉力	3	為力	4	威力
(4) はっき	1	発起	2	発気	3	発企	4	発揮

問 2　製品の(1)かかくを(2)いじするために(3)けいやくを(4)むすんだ。

(1) かかく	1	価角	2	価格	3	稼角	4	稼格
(2) いじ	1	緯持	2	緯治	3	維持	4	維治
(3) けいやく	1	計約	2	係約	3	契約	4	継約
(4) むすんだ	1	結んだ	2	締んだ	3	絞んだ	4	紡んだ

問 3　父は、(1)ひっしに努力して借金を(2)へんさいし、店の経営を(3)きどうに乗せた。

(1) ひっしに	1	必支に	2	必仕に	3	必死に	4	必使に
(2) へんさい	1	返済	2	返債	3	返財	4	返砕
(3) きどう	1	基道	2	基動	3	軌道	4	軌動

問 4　人に(1)ごかいされるような(2)ぶれいな(3)げんどうは、(4)つつしんだ方がいい。

(1) ごかい	1	誤悔	2	誤戒	3	誤怪	4	誤解
(2) ぶれいな	1	無礼な	2	無札な	3	不礼な	4	不札な
(3) げんどう	1	原動	2	言動	3	現動	4	見動
(4) つつしんだ	1	悩んだ	2	悟んだ	3	慎んだ	4	慣んだ

問題Ⅳ　次の文の下線をつけたことばの二重線（＝）の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（例）　ごういんに頼んで引き受けてもらった。

1　ごうかなホテルに泊まる。

2　銀行にごうとうが入った。

3　水は水素と酸素のかごうぶつだ。

4　数学ではたくさんのきごうが使われる。

例の文の下線のことばは「強引」と書きます。1～4のことばはそれぞれ、1は「豪華」、2は「強盗」、3は「化合物」、4は「記号」と書きます。例の文の「強引」の「ごう」と、2の「強盗」の「ごう」は同じ漢字ですから、正解は2です。

（解答用紙）

（例）	①	●	③	④

(1)　こうほしゃがたくさん出た。

1　この本はさんこうになる。

2　大学で文学をせんこうする。

3　この地方はきこうが温暖だ。

4　世界の平和にこうけんする。

(2)　作品をひひょうする。

1　駐車禁止のひょうしきが立っている。

2　委員長をとうひょうで選んだ。

3　この本のひょうしはデザインがいい。

4　あの店はひょうばんがいい。

(3)　顕微鏡で植物のさいぼうを観察する。

1　この指輪（ゆびわ）にはきれいなさいくがしてある。

2　貿易会社にさいようされた。

3　録音した音楽をさいせいして聞く。

4　代金の支払いをさいそくされた。

(4)　この小説のとうじょう人物はたったの３人だ。

1　探検隊は目的地にとうたつした。

2　会員になるにはとうろくが必要だ。

3　犯人がとうそうする。

4　試験のとうじつ急に病気になった。

(5)　彼はこの事件にはかんよしていない。

1　ボーナスを銀行によきんする。

2　よぶんのお金を持ち合わせていない。

3　よきしていなかったことが起こった。

4　今度の選挙ではよとうが勝利をおさめた。

問題 V　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　平行な二つの直線は決して ＿＿＿ 。

1　まじえない　　2　まじらない　　3　まざらない　　4　まじわらない

(2)　建物に入るのに、いちいち証明書を見せなければならないので、本当に ＿＿＿ 。

1　わずらわしい　　2　まちどおしい　　3　みすぼらしい　　4　はなはだしい

(3)　不況の影響で、この地域の中小企業は ＿＿＿ 倒産した。

1　いまさら　　2　ひたすら　　3　のきなみ　　4　ひいては

(4)　いつもは厳しい先生だが、おもしろい ＿＿＿ もあることがわかった。

1　一見　　2　一目　　3　一部　　4　一面

(5)　わたしには小さくなったスーツを息子に着せてみたが、 ＿＿＿ だった。

1　だぶだぶ　　2　ふらふら　　3　のろのろ　　4　ぺこぺこ

(6)　道で子供たちが遊んでいたので、車のスピードを ＿＿＿ 通り過ぎた。

1　へらして　　2　ゆるめて　　3　よわめて　　4　なくして

(7)　話し合いは ＿＿＿ 終わった。

1　健全に　　2　寛容に　　3　精巧に　　4　円満に

(8)　林さんは、いつも ＿＿＿ 洋服を着ているので、みんなのあこがれの的だ。

1　エレガントな　　2　コントロールな　　3　ナンセンスな　　4　プラスチックな

(9)　計画がうまく行くように、みんなで作戦を ＿＿＿ 。

1　こめた　　2　ねった　　3　ほどこした　　4　あつらえた

(10)　小松さんの迫力に ＿＿＿ されて、思わず同意してしまった。

1　抑圧　　2　重圧　　3　圧倒　　4　圧縮

(11)　＿＿＿ 数の貝がらが、遺跡から発掘された。

1　はなばなしい　　2　おびただしい　　3　やかましい　　4　なやましい

(12)　電車の中で突然気分が悪くなったが、親切な人が _____ してくれた。

1　救済　　2　養護　　3　介抱　　4　奨励

(13)　事故で電車が止まって遅刻しそうになったが、バスに乗り換えたので、 _____ 間に合った。

1　おのずから　　2　かろうじて　　3　やむをえず　　4　ことによると

(14)　田中先生は神経が _____ 、生徒たち一人一人をよく理解してくれる。

1　きよらかで　　2　しなやかで　　3　こまやかで　　4　さわやかで

(15)　道の _____ に名もないきれいな花が咲いていた。

1　かたわら　　2　ふもと　　3　なぎさ　　4　すそ

問題 Ⅵ　次の(1)から(10)の＿＿＿のことばの意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（例）　もつ……そんなに忙しくて、よく体がもつね。

1　この建物はあと5年はもつだろう。

2　この店の支払いはわたしがもつ。

3　自信をもって発言した。

4　地図をもって山に登る。

はじめに示された文の中の「もつ」は、「健康な状態が保たれる」という意味です。2、3、4の「もつ」は、それぞれ「負担する」、「心にいだく」、「所持する」という意味ですが、1の「もつ」は、「使える状態が保たれる」という意味ですから、正解は1です。

（解答用紙）

（例）	● ② ③ ④

(1)　とおす……その作家は、生涯独身をとおした。

1　障子をとおして、やわらかい光が入ってくる。

2　夫人が私たちを奥の部屋にとおしてくれた。

3　がんばって書いたのに、先生は卒業論文をとおしてくれなかった。

4　わが社としては、従来の方針をとおすつもりだ。

(2)　あし……電車のストで、通勤のあしが奪われた。

1　雪道であしを取られ、ころんでけがをした。

2　あしに合わない靴をはくと、体によくない。

3　いい温泉だが、あしが不便なので客は少ない。

4　僕が失敗をして、チームのあしを引っ張ってしまった。

(3)　しめる……寝る前にガスの栓をしめることにしている。

1　今月いっぱいで店をしめることになった。

2　このドアはゆっくりとしめてください。

3　赤字続きだから、少し家計をしめないといけない。

4　着物は着たいけれど、一人では帯がしめられない。

(4)　もと……あんな人に頼んだのが、失敗のもとだった。

1　もとをかけなければ、利益も得られない。

2　何がもとでけんかになったのか、どうしても思い出せない。

3　使い終わったら、もとの場所に返してください。

4　調査データをもとに、議論を進めた。

(5)　するどい……あの子は、年のわりになかなかするどい。

1　筆者のするどい目が、一流の評論につながっている。

2　相手コートにするどいボールを打ち込んだ。

3　この件で、両者がするどく対立している。

4　被害者は、するどいナイフのようなもので刺されたようだ。

(6)　ひとつ……息子はもう小学生なのに、あいさつひとつ上手にできない。

1　天気もいいし、ひとつハイキングにでも行かないか。

2　おっしゃることが今ひとつわからないのですが。

3　田中さんは家事が嫌いで、掃除ひとつしない。

4　いくら合唱の練習をしても、みんなの気持ちがひとつにならない。

(7)　かたい……ベテランの俳優たちに囲まれて、彼の動きのかたいのが目立った。

1　試験の時は、とかくかたくなりがちだ。

2　この肉は焼きすぎたので、かたくなってしまった。

3　父は頭がかたくて、新しいものには必ず反発する。

4　彼の能力からすると、成功はかたい。

(8)　みる……子が親の面倒をみるのは、当然だと思う。

1　何度か話し合いを行ったが、残念ながら意見の一致をみなかった。

2　近所の大学生が子供の勉強をみてくれるので、助かる。

3　出かける前に、車の調子をみてみよう。

4　みると聞くとは大違いとは、このことだ。

(9)　やける……本棚の本の背が、日にやけて白っぽくなった。

1　空が真っ赤にやけている。

2　あの二人を見ていると、思わずやけてくる。

3　海でやけた肩と背中が少し痛い。

4　パンがおいしそうな色にやけた。

(10)　おちる……あそこのレストランは、最近味がおちた。

1　兄は就職試験におちて、元気がない。

2　洋服についた口紅は、なかなかおちない。

3　田中君の名前が名簿からおちている。

4　疲れてきたのか、中山選手のスピードがおちてきた。

astraJLPT Editorial

問題用紙

(1 9 9 7)

1 級

読解・文法

(200点　90分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で19ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

問題 Ⅰ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

自分は自分であって、他の人ではない。食事をする暇がないので、誰かに代わって食べてもらう、などできないのは当然である。また、私たちは誰でも、その「自分」を知っている。自分は背が高いか低いか、どんな顔をしているか、気が強いほうか弱いほうか、これらが自分で分からないという人はまずいないだろう。自分で自分自身に対してもつ、このような認識内容を、一般に自己概念①と呼ぶ。

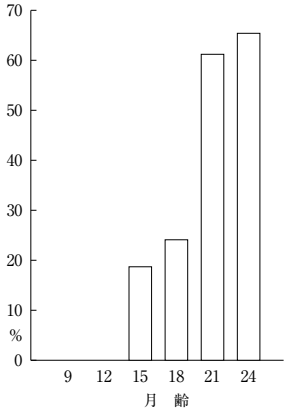
（ ② ）、これは正常な大人の場合の話である。発達初期の乳児(にゅうじ)(注1)は、自分の体と自分の周囲のものとの区別がつかない、自分とお母さんとは別の人間だということにも気付いていない、といわれている。そのような状態では、自己概念などは問題になるまい③。いったいいつ頃から、「自分」に気付き、「自分」という観念が生まれてくるのだろうか。

生まれて間もない乳児に、「自分の存在を感じているか」「自分をどう思うか」などと聞いてみても無意味である。そこで、問題を解明(かいめい)(注2)するためのテクニック(注3)の一つとして考え出されたのが、鏡に映った自分の姿を乳幼児に観察させる、という方法である。

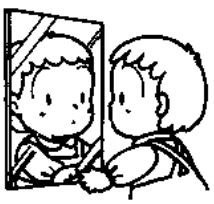
（中略）鼻の頭に口紅で赤い印をつけて、子どもを鏡に向かわせたとする。その時、鏡映像を見て自分自身の鼻に触ったとしたら、（ ④ ）、といえるであろう。

そのような方法を用いた研究の一つ、ルイスとブルックス＝ガンの実験で、彼らは、生後9ヵ月から24ヵ月までの、六つの年齢グループの子どもたちを比較している。

各年齢グループの子どものうち、鼻に印をつけないのに鼻に触った子がいたパーセントと、鼻に印をつけた時に鼻に触った子のいたパーセントとの差を示したのが図の縦軸である。この差が大きいほど、（ ⑤ ）、自分の鼻の印に気付いたが故に、鼻に触る行動が増えたことを示すといえる。これから明らかなように、鏡映像を自分だと気付く⑥子どもは、15ヵ月から18ヵ月にかけての年齢で急に増え、24ヵ月の段階ではかなりの子が「自分」に気付いている⑦ことが分かる。



（Lewisら、1979より）



このようにして得られた結果は、乳幼児の単なる視覚的な自己認知(注4)を示すにすぎないともいえようが、これがその後の自己概念の発達の基礎となることもまた確実であろう。

（高田利武「鏡の中の〈私〉」斉藤勇編『対人心理学トピックス100』誠信書房による）

（注１） 乳児：生まれてから1年ぐらいまでの子ども、乳幼児は3歳ぐらいまでの子ども

（注２） 解明：分からないところをはっきりさせること

（注３） テクニック：技術、方法

（注４） 認知：存在がわかること、存在を認めること

問１ ①「自己概念」の最も適当な説明はどれか。

1　人は誰でも「自分」を知っているという認識

2　自分の性質や特徴についての自身の認識

3　食事などに対する自己管理についての認識

4　大人のように十分自立しているという認識

問２ （　②　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　それで　　2　一方　　3　だから　　4　しかし

問３ ③「自己概念などは問題になるまい」とあるが、ここではどういうことか。

1　自己概念という言葉は難しすぎてわからない。

2　自己概念などは言葉の意味が簡単すぎる。

3　自己概念を考えるのは乳児では早すぎる。

4　自己概念などは誰にもあり、問題はない。

問４ （　④　）に入る最も適当な文はどれか。

1　その子は鏡に映っているのが自分だと分かっている

2　その子は自分の鏡映像を他の子どもと考えている

3　その子は鏡に映った映像に興味を持っている

4　その子は目がよくて自分がよく見えている

問５　（　⑤　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　偶然の結果として

2　印の色が赤いほど

3　自分の口ではなく

4　単なる偶然ではなく

問６　⑥「鏡映像を自分だと気付く」とあるが、具体的にどうすることか。

1　口紅のついた自分自身の鼻の頭に触れる

2　口紅のついていない自分の鏡映像に触れる

3　口紅のついた自分の鏡映像に触れる

4　口紅のついていない自分自身の鼻の頭に触れる

問７　⑦「「自分」に気付いている」とあるが、どういうことか。

1　自分がどのように認識されているか自覚すること

2　「自分をどう思うか」という質問に答えられること

3　視覚的な自己認知（にんち）ができているということ

4　自己概念が大人同様に発達しているということ

問題 Ⅱ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

タクシーの車窓から久しぶりの町を眺めながら、高田さんは五年前を思い出していた。

その時は新婚三ヵ月目で、奥さんの里帰り(注1)に随いてきた。奥さんは両親や兄妹と会うのが楽しみで浮き浮き(注2)していた。タクシーが街並みを通り抜けるとき、あそこが同級生の家、向こうに見えるのが従姉が務めている郵便局と、しきりにはしゃいだ(注3)声を上げた。

その半年前にも、両親に結婚の承諾をもらうために訪れていたが、二人とも勤めの関係があって、東京へトンボ返り(注4)しなければならなかった。だから、その里帰りのときが、奥さんの故郷をゆっくり見た最初の機会となった。

だが、その後は一度も来ていない。①あまりにも重い出来事ばかりが続いたために、長い間ご無沙汰を続けてきたのである。

タクシーは町筋を通り過ぎたあと、さらに十五分ほど走り、山の中腹にある家の前で停まった。高田さんは道路際に降り立ち、家の周りに広がる林を見渡した。東北の三月にしては雪もなく、穏やかな天候だったが、さすがに早春の冷気が肺の中まで染み透ってきた。

「ようきたねえ」(注5)

大柄の男が玄関にあらわれ、懐かしげな目を向けてきた。高田さんより二つ年上の義兄(注6)で、地元の農業高校で教鞭(注7)をとっている。(中略)

「ちょうど学校が春休みでね。いいときに来てくれたな。……今夜は久しぶりに飲もうか」と②親しみを込めて笑いかけた。

石油ストーブで温められた座敷へ通され、高田さんは奥さんの両親と向かい合った。

挨拶を終えて、近況などを話したあと、しばらく口(注8)をつぐんだ。大事な話を切り出そうと思いながら、なかなか言葉が出てこないのだ。③相手の顔さえまともに(注9)見られなかった。

座卓の向こう側で穏やかな微笑みを浮かべている老夫婦は、かつては高田さんを実の息子のように思ってくれた人たちである。あるいは現在でも、そう見ているのかもしれない。

躊躇(ためら)ったまま、うつむいていると、

「あんた、再婚するんじゃないのかね？」

ふいに義父のほうが先に口を開いた。

高田さんは④思わず目を上げた。義父の微笑みに変化はなかった。隣にいる義母は淋しそうな表情になっている。ひたと見つめてくる目が、亡くなった奥さんにそっくりだった。

「じつは、……そのことで」

言ってしまって、高田さんはほっとした。

二人に会う前から、どう伝えたらいいかと思い悩んでいたのだ。言い出すきっかけを作ってくれた義父に感謝しなければならない。

「それは、おめでとう」

義父はゆったりとうなずいた。

「麻里がなくなってからというもの、いつか⑤この日が来るに違いないと、……じつは家内とも話しておったんだ」

愛しい娘を失った父親が悲しみを抑えて、祝福までしてくれている。高田さんは黙って頭を垂れるほかなかった。

（内海隆一郎「白い木」『PHP』586号による）

（注１） 里帰り：女性が結婚後、実家を訪れること

（注２） 浮き浮きする：うれしくてじっとしていられないような気持ちになる

（注３） はしゃぐ：うれしくて騒ぐ

（注４） トンボ帰り：行って、すぐに帰ること

（注５） よう：よく

（注６） 義（兄）：義理の（兄）、結婚相手の（兄）

（注７） 教鞭をとる：学校で教える

（注８） 口をつぐむ：だまる

（注９） まともに：正面からまっすぐに

問１ 「高田さん」は全部で何度この町を訪れたことになるか。

1　5年前、半年前、今回、の3度　　2　5年前、半年前、の2度

3　5年半前、5年前、の2度　　4　5年半前、5年前、今回、の3度

問２ ①「あまりにも重い出来事」として、ここであてはまるものを選べ。

1　高田さんが結婚すること　　2　奥さんがなくなったこと

3　両親が結婚を承諾したこと　　4　冬の寒さが厳しかったこと

問３　②「親しみを込めて笑いかけた」とあるが、どのような気持ちを表現したくて笑いかけたのか。

1　お酒を飲めるのでうれしいという気持ち

2　学校が休みでよかったという気持ち

3　高田さんを思いやるやさしい気持ち

4　高田さんへの恨みを隠したい気持ち

問４　③「相手の顔さえまともに見られなかった」とあるが、なぜか。

1　自分は苦しんでいるのに相手が微笑んでいることが理解できなかったから。

2　実の息子のように思ってくれた相手にどう話せばいいか分からなかったから。

3　長い間ご無沙汰したことをどうお詫びしていいか分からなかったから。

4　自分をじっと見つめる義母の目がなくなった奥さんにそっくりだったから。

問５　④「思わず目を上げた」とあるが、なぜ高田さんはそうしたのか。

1　自分が言おうとしていたことを義父が先に言ったから驚いて目を上げた。

2　やさしい人たちなのに顔も見ないのは失礼だと気がついたから目を上げた。

3　義父よりも自分が先にちゃんと言わなければと思い、あわてて目を上げた。

4　義父の言葉を聞いて義母がどのように感じたか気になって目を上げた。

問６　⑤「この日」とあるが、それはどんな日か。

1　高田さんが麻里を思い出して遊びに来てくれる日

2　高田さんと久しぶりにゆっくりと話し合える日

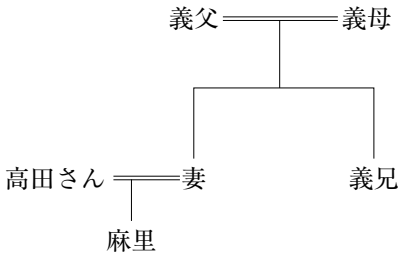
3　麻里がなくなって自分たちだけが後にのこされる日

4　高田さんが再婚すると自分たちに言いに来る日

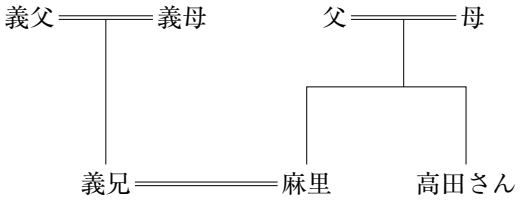
問7　文章に書かれた人間関係を高田さんを中心にして図で示した場合、あてはまるのはどれか。

＝＝＝は夫婦関係、＿＿＿の縦は親子関係、横は兄妹関係を表す

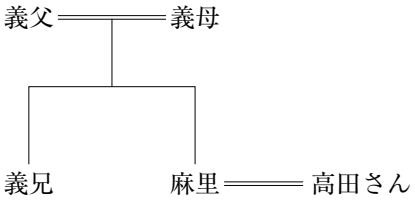
1



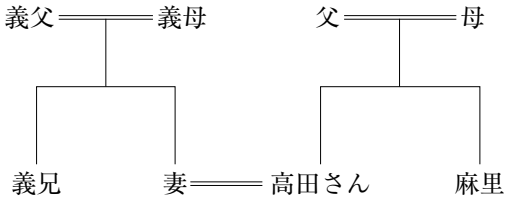
2



3



4



問題 Ⅲ　次の(1)～(6)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 世間には、「のせ上手」の人がいる。たとえば、相手がしゃべりたくもないことをうまくリード(注1)して、いつの間にかその気にさせてしまう人である。

こういう人は案外、「聞き上手」な人に多い。大汗をかいて馬を引っ張って水飲み場に連れていくのではなく、なんとなくお尻を叩きながら、いつしか自分の意志で馬を水飲み場へ行かせてしまう人なのだ。

友人にあとで悪く思われることもない。なぜなら、のせられる人も、隠したいことほどしゃべりたい話だからである。

（神津カンナ『その人のどこが人を魅きつけるのか』三笠書房による）

(注1) リードする：導く

【問い】　「自分」に当たるのはどのような人か。

1　相手をその気にさせる人
2　馬を水飲み場へ行かせる人
3　のせられる人
4　聞き上手な人

(2)「人はその血管と同じに年をとる」という名言があります。もちろん、人間だけでなく、いろいろな動物にもあてはまります。この言葉は、血管というものが、老化を考えるさい、いかに大事であるかを物語っています。体の各器官がどんなに若々しくとも、血管に障害があったら、その器官に栄養物も酸素も届けられず、また、老廃物(ろうはいぶつ)(注1)はたまる一方になってしまいます。鉄道や運送会社、それに清掃業者がストライキをおこしたとしたならば、都市は瀕死(ひんし)(注2)状態になることでしょう。血管の役割はそれほど重大なのです。

（香原志勢『老いを考える』ほるぷ出版による）

(注1) 老廃物(ろうはいぶつ)：動物の体内で古くなり、いらなくなったもの
(注2) 瀕死(ひんし)：今にも死にそうなこと

【問い】　文の中の「人」と「血管」の関係に当たるものはどれか。

1　動物と各器官

2　栄養物と老廃物

3　鉄道と清掃業者

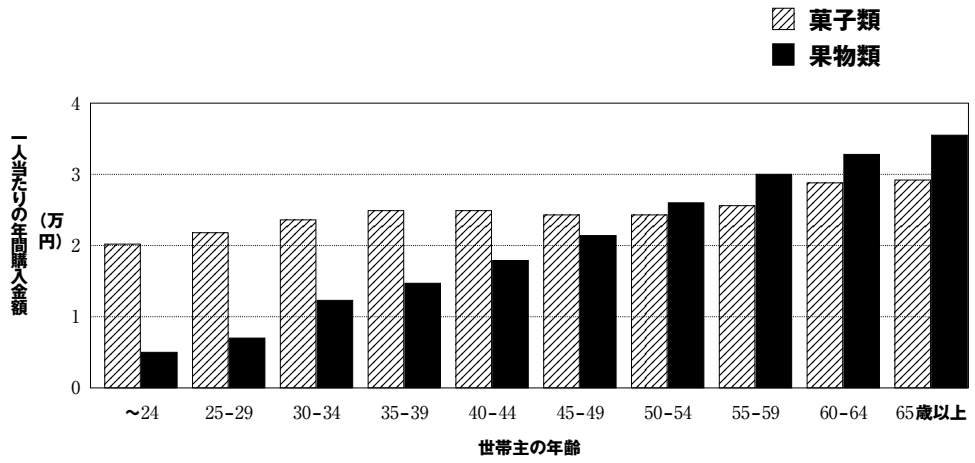
4　都市と運送会社

（3）最近、果物の消費が伸びていません。そこで、果物の年間購入金額を調べてみました。一人当たりの購入が最も多いのは世帯主が65歳以上の家庭で、最も少ないのは世帯主が24歳以下の家庭でした。金額にすると、前者は23,494円、後者は5,036円と、約4.7倍も差が開いています。

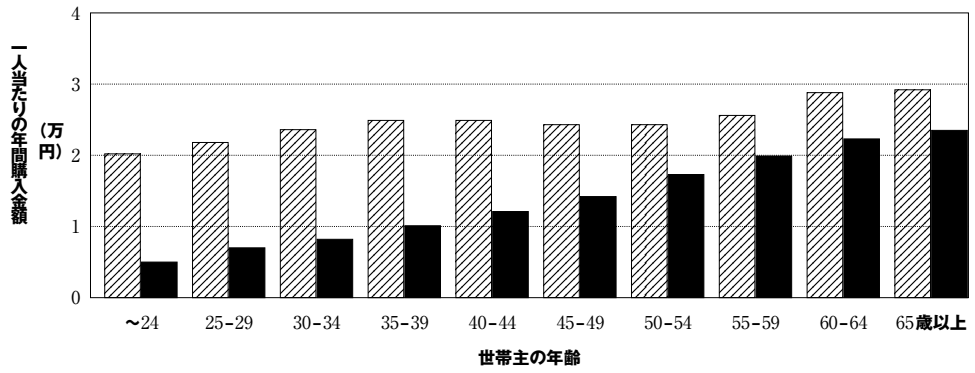
果物の「敵」は、お菓子だとよく言われています。やはり、菓子類でも購入金額が最も多いのは世帯主が65歳以上で29,117円、少ないのは24歳以下で20,199円となっています。ところが、果物と菓子類とでは、やや違った傾向が見られます。いずれの年齢の世帯主の家庭でも、果物より菓子類の購入金額の方が多いのですが、年齢が上になるほど、この差は小さくなっていきます。これは、果物の購入を伸ばすためには、若い家庭に対する宣伝がもっと必要だということでしょう。

【問い】　次のグラフの中から説明に合っているものを選びなさい。

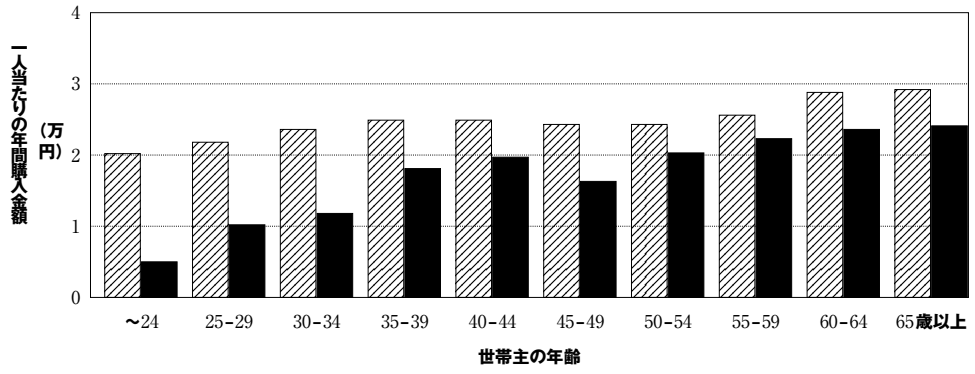
1



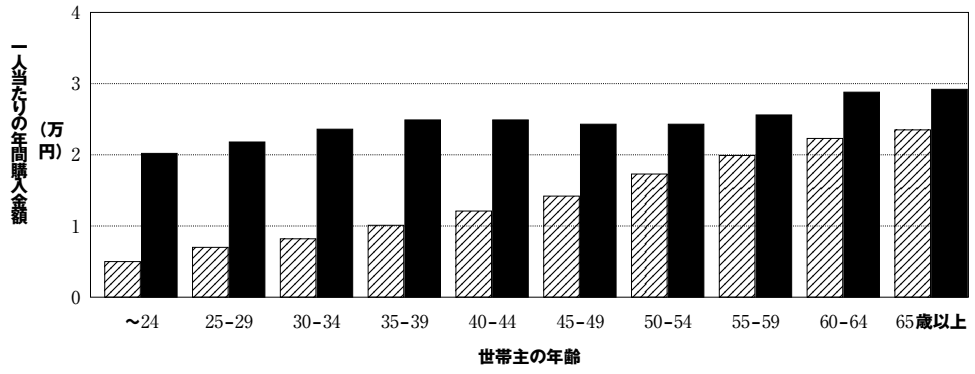
2



3



4



（グラフ：総務庁統計局編『家計調査年報平成４年』大蔵省印刷局による）

（4）次男(じなん)[注1]が一年生のときである。ある夕方、それまで降っていた雨があがると、東の空に大きな虹(にじ)がかかった。次男は、

「ママ、（　①　）」

と言い、当時二歳になる弟と外に出た。私はさして[注2]気にもとめないでいたが、暗くなっても帰らない。不安になり、自転車で近所一帯を探したが、姿が見えない。いよいよ警察に届けようと決意したとき、二人は戻ってきた。

私が叱ると、彼は以前、イギリス人から虹[注3]のたもとには宝物が埋められているという古い伝説を聞いた、と話した。

「あの家の上に虹が乗ってる、と思ってその家まで行ったら、<u>また虹が逃げちゃったんだよ</u>」②

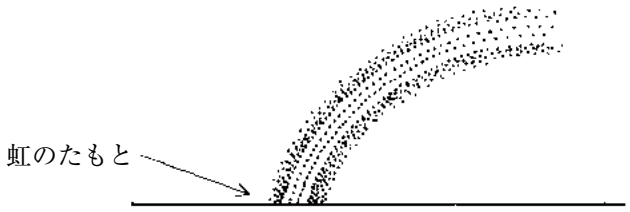
と言う。小さい弟の手をつないで、東へ東へと夢中で走り、とうとう隣の町まで行ってしまったという。

（藤原美子『子育てより面白いものが他にあるだろうか』海竜社による）

（注１）次男(じなん)：二番目の息子

（注２）さして：それほど

（注３）虹(にじ)のたもと：



【問１】　（　①　）に入る最も適当なものはどれか。

1　ちょっと虹(にじ)を見てくるね

2　お兄さんを呼んでくるね

3　隣の町まで行ってくるね

4　自転車に乗ってくるね

【問２】　②「<u>また虹が逃げちゃったんだよ</u>」という言い方が表す気持ちとして最も適当なものはどれか。

1　前にも同じように虹を追いかけたことがあったが、今回も失敗して悔しい。

2　虹のたもとに宝物が埋められているという伝説が本当ではないとわかって残念だ。

3　悪いことをしたわけではなく、虹を追いかけていただけで叱られたのが不満だ。

4　何度も虹のたもとまで行けそうになったのに、結局行けなかったのが残念だ。

（5）子どもにとって、想像の世界とは、単なる逃避（とうひ）の場ではない。動機としてはしばしばそういうものがあるとしても、逃避ということばは敗北という情緒的な意味づけを含んでいるがゆえに、間違っていると思う。想像の世界とは、むしろ、子どもが、精神の自由、精神の主体性を守る場所でこそあるのではないか。決して自分のために運営されているのではない現実から相対的に独立して、観念の力をみずから養う場所なのではないだろうか。

（佐藤忠男『大衆文化の原像』岩波書店同年代ライブラリーによる）

【問い】　子どもにとって「想像の世界」とは、どのようなところか。

1　自分の意志で自由に考えることができるところ

2　きびしい現実を完全に忘れることができるところ

3　大人の世界から離れて楽な気持ちになれるところ

4　現実から逃げて自分の好きなことができるところ

（6）下のA～Dは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

新しくスペイン語を始めるとしよう。一か月したら基礎的な単語や日常の挨拶などについてテストがあるということが分かっていると、

ア

そして

イ

こういうふうに

ウ

このように

エ

A テストの前にはもう一度おさらい(注1)して、何とかマスターするように頑張るはずである。

B 一年間、例えば毎月毎月のテストをひとつの励(はげ)みにし、目当(めあ)て(注2)にして学習を積み重ねていくならば、実際に使(つか)い物(もの)(注3)になる程度のスペイン語能力を身につけることができるはずである。

C やはりそれを目指して勉強するのではないだろうか。

D 評価ということには、学習に対する外的(がいてき)な刺激、その意味でのペースメーカーとしての働きがあるのである。(注4)

（梶田叡一『教育評価』放送大学教育振興会による）

（注１） おさらい：復習すること

（注２） 目当(めあ)て：目標

（注３） 使(つか)い物(もの)になる：使って役に立つ

（注４） ペースメーカー：ものごとの進み方をうまく調整する人

【問い】 正しい組み合わせのものを選びなさい。

1	ア：A	イ：B	ウ：C	エ：D
2	ア：B	イ：A	ウ：D	エ：C
3	ア：C	イ：A	ウ：B	エ：D
4	ア：D	イ：B	ウ：A	エ：C

問題 Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　試験の日に朝寝坊をした弟のあわてようと ＿＿＿ なかった。

1　いっても　　2　いうけど　　3　いうのに　　4　いったら

(2)　彼女は3度の足のけがを ＿＿＿ オリンピックの代表選手になった。

1　ものともせず　　2　ものにせず　　3　ものにして　　4　ものではなく

(3)　田中さんは周囲の心配 ＿＿＿ ヨットで長い航海に出た。

1　はもとより　　2　をよそに　　3　によらず　　4　はおろか

(4)　このたび代表として国際会議に ＿＿＿ いただくことになりました。

1　いかれて　　2　いかせて　　3　いかされて　　4　いかせられて

(5)　わたしの ＿＿＿ 未熟者にこんな重要な役が果たせるでしょうか。

1　ごとき　　2　ごとの　　3　ごとく　　4　ごとし

(6)　休養に徹すると言い ＿＿＿ 頭から仕事のことが離れない。

1　ながらに　　2　かたがた　　3　ながらも　　4　ついでに

(7)　鈴木アナウンサーはきょうのサッカーの試合の中継放送を ＿＿＿ 引退した。

1　かぎりに　　2　かぎって　　3　しまって　　4　ばかりに

(8)　姉と ＿＿＿ 、最近おしゃれのことばかり気にしている。

1　すれば　　2　したら　　3　あれば　　4　きたら

(9)　選手 ＿＿＿ もの、試合においては堂々と戦え。

1　する　　2　おる　　3　たる　　4　ある

(10)　どんな小さな成功も努力 ＿＿＿ ことだ。

1　あっては　　2　あってで　　3　あっても　　4　あっての

(11)　父親が帰ると、待っていたと ＿＿＿ 娘はおみやげをねだった。

1　ばかりに　　2　ばかりか　　3　ばかりも　　4　ばかりで

(12)　掃除が終わったらおやつがもらえる _____ 子供は一生懸命手伝っている。

1　とあって　　2　として　　3　とあっても　　4　とすると

(13)　昔は親に反抗 _____ 、すぐにたたかれたものだ。

1　しそうものなら　　2　しようものなら　　3　しないものなら　　4　しようものの

(14)　息子はこづかいをやったそば _____ 使ってしまう。

1　にも　　2　まで　　3　から　　4　でも

(15)　どろ _____ になって働いても、もらえる金はわずかだ。

1　まみれ　　2　ぎみ　　3　くさく　　4　ながら

(16)　あの子はいったん遊びに出たが _____ 、暗くなるまでもどって来ない。

1　終わり　　2　始末　　3　しまい　　4　最後

(17)　地震のことなど想像する _____ 恐ろしい。

1　だの　　2　でも　　3　だに　　4　では

(18)　見舞いに来ない _____ 電話ぐらいはするものだ。

1　からに　　2　までに　　3　からも　　4　までも

(19)　結婚をひかえ、家具はもちろん、皿やスプーンに _____ 新しいのを買いそろえた。

1　いたりで　　2　いたっては　　3　いたっても　　4　いたるまで

(20)　コンピュータに入れておいても、うっかり消してしまえば _____ 。

1　そのものだ　　2　それまでだ　　3　そのままだ　　4　それだけだ

(21)　課長である以上、そんな大事なことを知らなかった _____ だろう。

1　でもすまされない　　2　でもとまらない

3　ではすまされない　　4　ではとまらない

(22)　友達の励まし _____ 作品の完成はなかったであろう。

1　なくとも　　2　なくしては　　3　ないまでも　　4　ないでは

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　知らないくせに知っているようなふりをする ＿＿＿ 。

1　ことじゃない　　2　ようじゃない　　3　までじゃない　　4　ものじゃない

(2)　そんな簡単なこと、わざわざあなたに説明してもらう ＿＿＿ 。

1　までもない　　2　ものではない　　3　わけでもない　　4　ところではない

(3)　事故で家族を失った人の話を聞いて、涙を ＿＿＿ 。

1　禁じなかった　　2　禁じ得なかった

3　禁じざるを得なかった　　4　禁ぜずにはおれなかった

(4)　台風によって交通機関が止まってしまい、旅行の中止を ＿＿＿ 。

1　余儀なくした　　2　余儀なくさせた

3　余儀なくされた　　4　余儀なくなった

(5)　みんなから信頼されている彼をおいてほかに適当な人が ＿＿＿ 。

1　いるだろう　　2　いるだろうか

3　いないだろうか　　4　いはしないだろうか

(6)　うるさいと感じるかもしれないが、親があれこれ言うのはあなたのことを心配して ＿＿＿ 。

1　いたらこそだ　　2　いればこそだ

3　いるならこそだ　　4　いたならこそだ

(7)　問題がこじれてしまう前に対策をたてるべきだったのに、ことここにいたっては ＿＿＿ 。

1　どうかしなくては　　2　どうにかしている

3　どうしようもない　　4　どうしたというのか

問題 Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　この奨学金は留学生のためのものです。出身国の ＿＿＿ によらず応募することができます。

1　どこ　　2　なに　　3　いかん　　4　どちら

(2)　人には精神の豊かさこそが第一に必要なものである。どんなに物質的に豊かになった ＿＿＿ 、幸せだとは限らない。

1　だけあって　　2　のみならず　　3　にかかわらず　　4　からといって

(3)　同じ兄弟でありながら、彼らほど性格が違うのも珍しい。いつも冷静でしっかり者の兄 ＿＿＿ 、弟の方はなんと落ち着きのないことか。

1　とかわって　　2　にひきかえ　　3　にもまして　　4　といえども

(4)　父も母も、これまではただ仕事ひとすじで、人生を楽しむゆとりなどなかった。海外旅行は ＿＿＿ 国内さえもほとんど見て回ったことがない。

1　おろか　　2　わずか　　3　限らず　　4　問わず

(5)　世界経済の自由化の波は、日本の農業にも深刻な影響を与えた。米は一粒 ＿＿＿ 輸入させないと言っていた人々も、もうそんなことは言っていられなくなった。

1　ばかりも　　2　だけさえ　　3　たりとも　　4　とはいえ

(6)　ラジオから流れてくる日本の民謡を ＿＿＿ 聞いていると、何だか懐かしい気分になった。どうしてだろうと思ってよく聞いてみると、私のふるさとの音楽とリズムが一緒だった。

1　聞かないまでも　　2　聞くともなしに

3　聞くこともせずに　　4　聞かないながらも